

# 貝塚市まち・ひと・しごと創生 総合戦略

【概要版】

～女性が輝き、子どもが生き生きと育つまちを目指して～



平成 27 年 10 月  
貝塚市

**地方創生って何のため？**

**貝塚市は人口の減少を抑え、活気あるまちづくりのために、**

**これからどういったことをするの？**

**ここでは「貝塚市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のこ**

**を、マンガでわかりやすく説明します！**



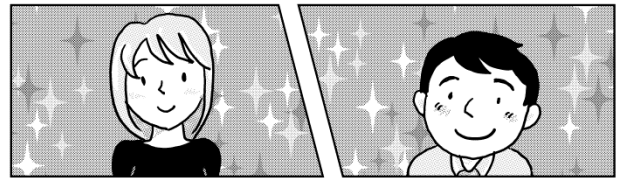
貝塚市のイメージキャラクター「つげさん」

## 【目次】

第1章 総合戦略の趣旨.....	1
第2章 本市の人口推移とまちづくりの将来展望.....	2
第3章 総合戦略の基本方針.....	3
1. かいづか幸せストーリー.....	3
2. まちづくりの方向性.....	4
第4章 総合戦略によるまちづくりの具体的な方策.....	6
1. 若者が住み続けたい（住みたくなる）まちづくり.....	6
2. 子どもを産み、育てやすいまちづくり.....	7
3. 賑わいと活気にあふれ、愛着と誇りを感じるまちづくり.....	8
第5章 おわりに.....	10
女性が輝き、子どもが生き生きと育つまちを目指して.....	10

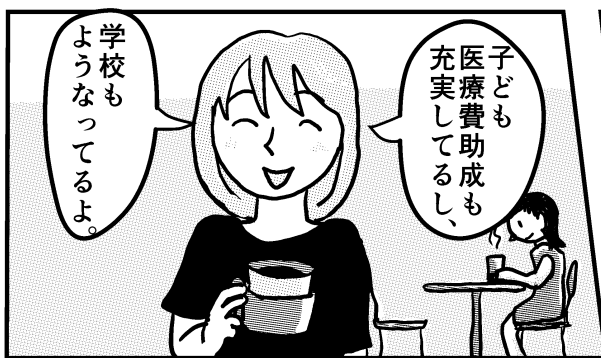
# 第1章 総合戦略の趣旨

貝塚市に住む20代の2人が  
総合戦略とまちづくりについて、  
話しています。

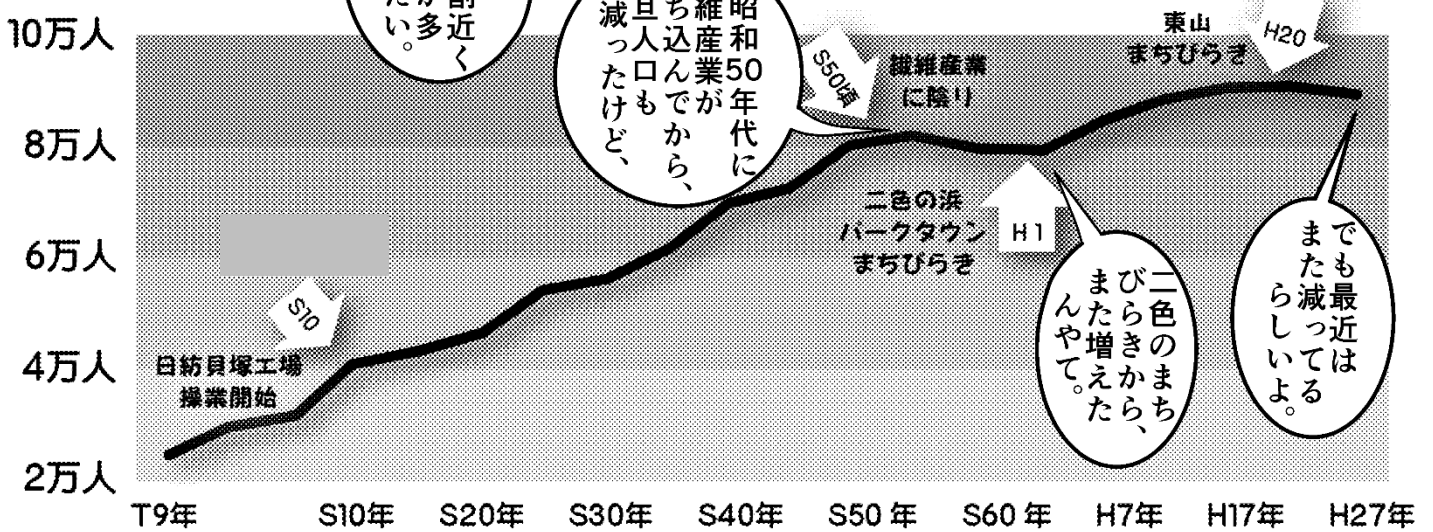


まちこ

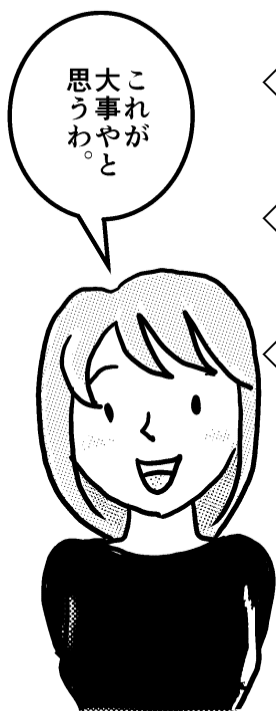
ひとし



## 第2章 本市の人口推移とまちづくりの将来展望



資料：国勢調査（平成27年は住民基本台帳）



思大こう  
う事これ  
わやが  
と

- ◇貝塚で育った女性が就職などで転出せんと、
- ◇市外からも若い世代が転入してきて、
- ◇結婚後も、夫とともに引き続き定住して、
- ◇出産、子育てのあとも子どもとともに住み続け、
- ◇老後も子と同居（近居）することで、



**すべての世代に住み続けてもらうこと！**

## 第3章 総合戦略の基本方針

### 1. かいづか幸せストーリー

今後の人口減少を抑制するためには、若年女性が定住したいと思える環境を整えることが必要だと考えられることから、人生のステージにおいて転換点となる場面での市民の思いを4人の女性に例えてみました。

#### (1) ネイリストの卵 A子さんの場合



貝塚市内で生まれ育ったA子さんは、ファッションやおしゃれに敏感な20代のOL。現在は、会社勤めをしながらネイリスト養成講座を受講し、将来はネイリストとしての独り立ちを目指しています。希望は、地元での開業。でも、開業のためには何をすればいいのか、資金はどうするのか? 具体的な方法を模索中です。

#### (2) 新婚さん B菜さんの場合

昨年結婚したB菜さん夫妻は、現在、賃貸住宅住まい。夫は1市の駅前にある会社に電車で通勤しています。夫婦の現在の関心事はマイホーム。将来、教育費が家計にのしかかる前にマイホームが欲しいねと相談しています。希望はB菜さんの実家近くに住むこと。休日ごとに不動産のチラシに目を通し、ようやく「コレ!」と思える物件を貝塚市の丘陵地域にを見つけました。



#### (3) 最近おめでたがわかった C美さんの場合



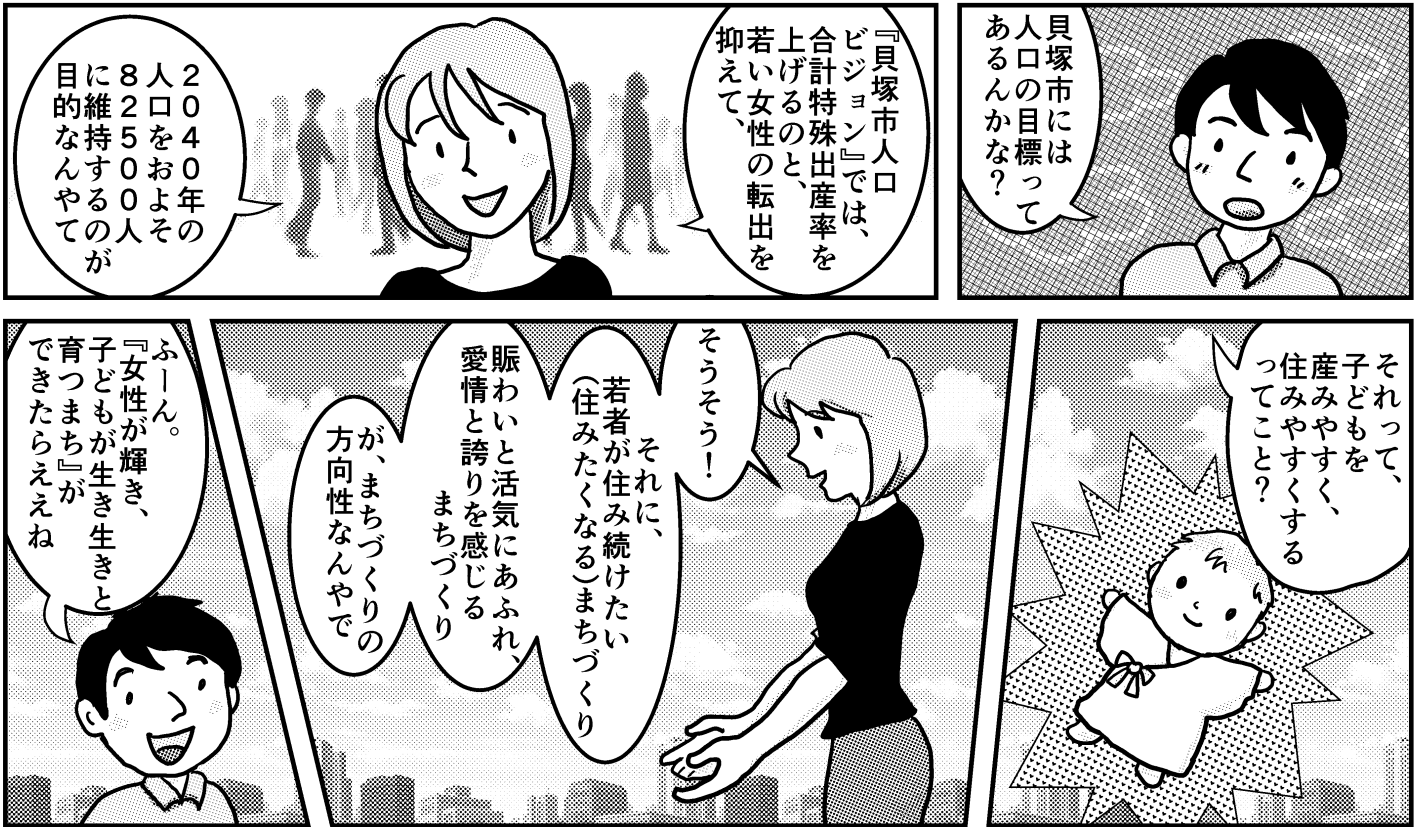
専門職のC美さんは、多額の費用をかけた不妊治療の結果、結婚5年目にして待望のおめでたが判明しました。夫と大喜びしたものの、先々いろいろと不安なことも。

#### (4) 自営業の妻 D代さんの場合

夫が駅前で自営業を営むD代さんは、井戸端会議でよく空き家が増えていることを耳にします。それに、近所の商店も店を閉めるところが増え、町の活気がなくなったようです。一方で、駅前の旅館に泊まる外国人観光客が増えているものの、これといった観光施設もなく、客は所在なげに町を歩いています。



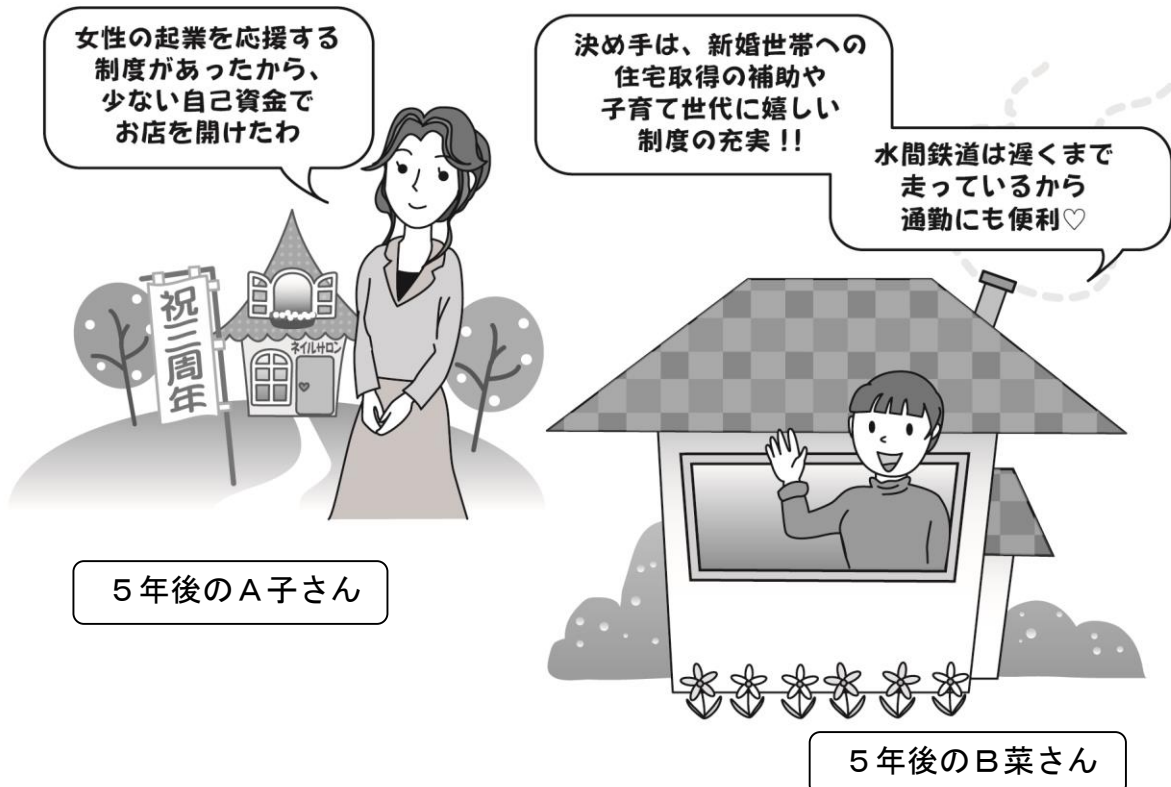
## 2. まちづくりの方向性



### (1) 若者が住み続けたい(住みたくなる)まちづくり



- ・ 若者が市内に住み続けられる環境を整えます。
- ・ 本市の優れた点をPRし、転出超過を防ぎます。
- ・ 若年世帯の市内での住宅取得を促進します。



## (2) 子どもを産み、育てやすいまちづくり

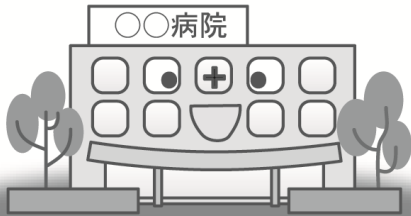


- ・ 妊娠・出産から育児、教育までを通した子育て支援を行います。
- ・ 地元企業での子育て環境づくりや、地域ぐるみの子育てを支援します。
- ・ 親世帯との同居・近居や父親の育児参加を促します。
- ・ 子どもの一時的預かりや育児指導などを支援・推進します。

急な発熱も多いけど、  
仕事を休めない時も  
子どもの一時的預かりがあって  
助かるよな

医療費の助成も  
充実してるしね

医療費助成！！



待機児童ゼロ！  
一時預かりOK!



スムーズに職場復帰できて  
本当に良かった。

5年後のC美さん



## (3) 賑わいと活気にあふれ、愛着と誇りを感じるまちづくり



- ・ 空き家や空き店舗を活用し、まちに賑わいと活気を創造します。
- ・ 地域資源を活かし、特産物のブランド化や知名度アップ、集客イベントなどの開催を支援し、市に対する愛着と誇りを高めます。

最近少しずつ、商店街に活気が戻ってきたわ。  
空き店舗貸出し支援の制度ができて、  
見学に来る若い人が チラホラいると思ったら、  
あっという間に2～3店舗 開店したし。

5年後のD代さん



外国語の案内も充実して、  
外国のお客さんも増えたわ。

## 第4章 総合戦略によるまちづくりの具体的な方策

ここでは、前章で述べた「まちづくりの方向性」を具体化するための方策を示します。

### 1. 若者が住み続けたい（住みたくなる）まちづくり

平成31年の目標：若者の転出が転入を上回る状態から脱却します！

（現状：10代から20代の若者の転出数が転入数を上回る状態）

#### (1) 女性や若者の雇用を創出

##### ① 市内での起業や就業を支援

市内での起業や就業を積極的に支援することにより、新たな雇用の創出と市内産業の活性化を図ります。



#### (2) 定住と転入の促進

##### ① 本市の「ええとこ」をPR

本市の環境や文化、利便性、行政サービスなどの「住みやすさ」、「魅力」を広く市内外にPRすることにより、転出を抑制し、転入を促します。

##### ② 若年世帯の転入と市内での定住を支援

若年世帯が本市内に住宅を新築・購入する場合に一定の補助を行うことにより市内への転入と定住を促します。

また、市内の事業所で働く若者が本市に転入する場合に、事業所や転入者に対する支援を行うことにより市内での職住近接を促します。



#### (3) 安心な暮らしを守り、地域を活性化させる

##### ① 防犯・防災対策などの充実

女性や高齢者が安心してまちで暮らし、通勤・通学が不安なく行えるよう、地域コミュニティの活性化を促すとともに防犯対策などを充実します。

また、災害時の安全対策のため、防災訓練や防災啓発の充実を図ります。

##### ② 地域公共交通の利用拡大

通勤・通学をはじめ、買物や通院など市民の日常生活の貴重な移動手段である水間鉄道の運営を支援するため、山手地域の観光活性化などによる利用者数の拡大を図るとともに、コミュニティバスも含めた利便性向上のため、運用方法を検討します。





## 2. 子どもを産み、育てやすいまちづくり

平成31年の目標:本市の合計特殊出生率を1.5で維持します!

(平成25年の本市の合計特殊出生率:1.5)

### (1) 子育てと雇用のマッチング

#### ① 子育て世代が働きやすい環境づくり

市内事業所への啓発や育児に優しい企業の認定などにより、妊娠・出産・子育て期間を通じ、働きやすい環境づくりを支援します。



### (2) 親世帯との子育てを支援

#### ① 三世帯の同居・近居を支援

子育てには身近な親族の手助けが望まれることから、子育て世帯の親世帯との同居または近居のための費用を補助し、親世代・子世代・孫世代の三世帯同居・近居を支援することにより、転出した若年層のUターンを促します。



### (3) 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

#### ① 子を望む夫婦を支援

子どもを授かりたい夫婦の不妊治療にかかる経費を一部助成するとともに、妊娠中から出産後までの母親の不安を解消し、心身の癒しの場をつくります。



#### ② 子育てしやすい環境づくり

子育てサービスの充実を図り、ワンストップで妊娠から育児まで切れ目のないサービスが受けられる環境を整えることで、子育て世帯を支援します。

#### ③ 教育ナンバー1のまちづくり

これまで取り組んできた小中一貫教育の推進などに加え、新たな情操教育を導入するとともに、家庭・地域との連携により、学習意欲が高く、未来に向かって夢を持ち、たくましく生きる子どもを育成します。



#### ④ 地域での子育ての推進

地域が一体となって子どもに気を配り、安全やしつけ、家庭環境などに配慮することで、地域全体で子育てを支援する環境をつくります。

### 3. 賑わいと活気にあふれ、愛着と誇りを感じるまちづくり

平成31年の目標:本市に住み続けたいと思う市民の割合を80%まで  
向上させます! (平成26年市民アンケート結果:65%)

#### (1) まちの活性化による雇用の創出

##### ① 空き店舗や空き家・空き地の活用による賑わいづくり

居住者や常時利用する者がいなくなった空き店舗や空き家を有効に活用し、出店希望者とのマッチングを図るとともに、空き地を適正に利用することで、まちの賑わいと活気を取り戻します。

##### ② 市内商店・商店街の活性化

市内での消費を喚起するとともに、空き店舗が目立ちつつある市内商店街などでの開業を後押しすることにより、商店街を活性化させます。



##### ③ 外国人観光客向けインバウンドの促進

本市を訪れる外国人観光客向けインフォメーションを充実し、訪れた方に楽しんでいただくとともに、さらなる外国人観光客の誘致を目指します。

#### (2) 時代に合った地域をつくり、地域と地域を連携する

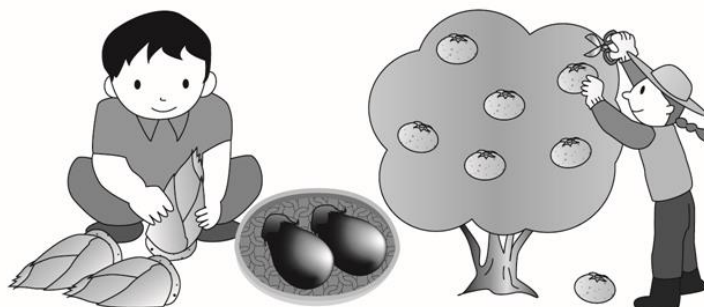
##### ① 地元特産品のブランド化

本市特産品の商品価値と知名度の向上を図るため、地元農産物など特産品のブランド化を推進します。

また、観光客が喜ぶ名物土産の開発や郷土料理のPRなどを支援します。

## ② 農業の6次産業化支援

地元農産物のブランド化と相まって、農作物の育成から販売までを一貫して手掛ける農家の活動を支援します。

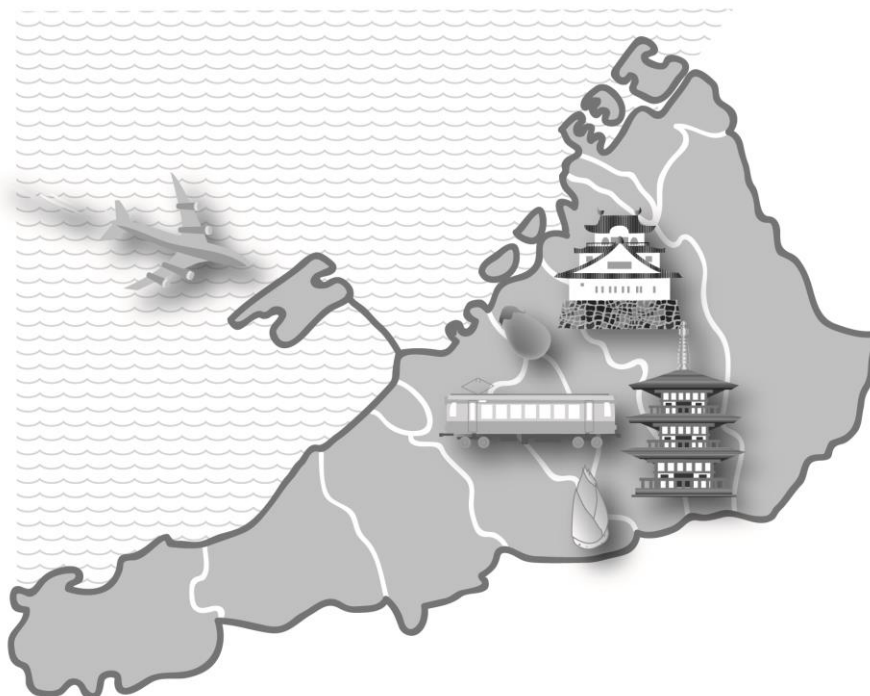


## ③ 地元資源を活用した観光拠点づくりとイベントの開催

本市独自の財産である二色の浜や水間寺などの名所を活用し、知名度のさらなる向上と集客が期待できるイベントを開催・支援します。

## ④ 近隣市町との連携

人口減少を抑制し、賑わいや活気にあふれたまちづくりを行うには、単独自治体で行うより、近隣市町と連携する方がより効果的であることから、観光分野をはじめ、あらゆる分野での連携方策を検討し、実施します。



# 第5章 おわりに

## 女性が輝き、子どもが生き生きと育つまちを目指して

